

美濃路街道について

美濃路は、慶長 5 年（1600 年）の関ヶ原の合戦に勝利を収めた徳川家康が凱旋した道で、吉例(きちれい)街道と称された。その後、家康・秀忠・家光の将軍 3 代が上洛に際してこの道をしばしば通行し、寛永 12 年（1635 年）に参勤交代の制度ができると、北陸・西国の大名の多くは、美濃路を慣例の通行路とした。東海道熱田宿から垂井宿を結ぶ美濃路街道は脇街道として発達し、起宿から羽島市内を通過して墨俣宿まで結んでいた。

◇分野

博物館 069、中部地方：東山・東海地方 215、日本 291、
教育課程・学習指導・教科別教育 375、風俗史・民俗誌・民族誌 382、
日本文学 910

詳しく知りたい

タイトル・著者・出版者・出版年	場所	請求記号	資料番号
『 美濃路街道 』（熱田宿から垂井宿まで） 羽島市観光協会／編集 羽島市観光協会 1991	郷土	A291	011729191
『 美濃路 』（熱田宿から垂井宿まで） 日下英之／著 愛知県郷土資料刊行会 1985	郷土	A215	010610665
『 美濃路 NOW 』新川みのじ会／著 舟橋武志 1997 *起宿から墨俣宿へ P.110～119	郷土	A291	011107992
『 濃飛両国通史 上 』岐阜県教育会／編集 岐阜県教育会 1923 *美濃路 P.731	郷土	A215	010590388
『 平成 美濃路ウォーク 』奥出光男／著 一粒書房 2014 *羽島間の宿 P.97～109	郷土	A291.5 ㇿ	012712691
『 幕末の起宿 特別展 』一宮市尾西歴史民俗資料 館／編者 一宮市尾西歴史民俗資料館 2008 *御進発 P.6～11	郷土	A069	012371753

昔の美濃路の経路を知りたい

『 美濃路見取絵図 第一巻 名古屋 清須 稲葉 』 児玉幸多／監修 東京美術 1977	郷土 第 2	A291	010647303
『 美濃路見取絵図 第一巻 解説篇 』 児玉幸多／監修 東京美術 1977	郷土 第 2	A291	010647311

『美濃路見取絵図 第二巻 萩原、墨俣、大垣、起、養老滝』 児玉幸多／監修 東京美術 1977	郷土 第2	A291	010647329
『美濃路見取絵図 第二巻 解説篇』 児玉幸多／監修 東京美術 1977	郷土 第2	A291	010647337
『美濃路をゆく 街道今昔』（爽 BOOKS 東海の街道 1） 日下英之／監修 風媒社 2018	郷土	A291.5 ヒノ	013001854

羽島市関連の図書

『羽島市史 第3巻』 羽島市史編纂委員会／編集 羽島市役所 1971 ＊脇街道美濃路の成立～美濃路洪水時の渡船 P.427～444	開架 郷土	A215	011067691
『羽島史跡のドライブ』 鈴木正太郎／著 羽島青年会議所 1976 ＊②④美濃路起渡しの石燈台 P.37、④①美濃路間の宿 P.55、④②美濃路及が橋 P.56	郷土	A215	011025673 ほか
『郷土探訪』 羽島市教育委員会／編集 羽島市教育委員会 1983 ＊鎌倉街道・美濃路の追憶 P.20～22	郷土	A910	010520781 ほか
『羽島市からの出発』 羽島市地域ガイドブック編集委員会／編集 羽島市教育委員会 1996 ＊美濃路街道を歩いてみよう P.9～10	開架 郷土	A375	011057718 ほか
『羽島・南濃の歴史 図説』 田中育治／著 郷土出版社 1988 ＊美濃路と舟渡し P.77	郷土	A215	011024429 ほか
『羽島郡旧跡誌並古文書集』 不破義信／著 不破義信 1954 ＊美濃路 P.51、間の宿 P.52	郷土	A215	010779494
『HASHIMA TOURIST MAP』（パンフレット） 羽島市観光協会／編集 羽島市観光協会 1990	郷土	A291	010343218

羽島市内の美濃路の写真

『竹鼻の歴史 図説』 竹鼻町史編集委員会／編集 竹鼻町史刊行委員会 1999 ＊美濃路と助郷 P.69	開架 郷土	A215	011145422 ほか
『戦前の羽島の風景』 羽島市教育委員会社会教育課／編集 羽島市教育委員会社会教育課 1979 ＊美濃路(1)・(2) P.7	郷土	A382	010406031 ほか

※詳しいことは、カウンターでお尋ねください。